



2020年5月14日

各位

会社名 大同メタル工業株式会社
 代表者名 代表取締役会長兼最高経営責任者
 判治 誠吾
 (コード: 7245 東証第1部・名証第1部)
 問合せ先 取締役兼常務執行役員
 経営・財務企画ユニット長
 三代 元之
 (TEL: 052-205-1400)

2020年3月期通期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2019年9月17日に公表いたしました2020年3月期通期の連結業績予想につきまして、本日発表の実績値との間に差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 2020年3月期通期連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日) 予想と実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	百万円 100,100	百万円 4,500	百万円 4,400	百万円 4,800	円 銭 101.01
実績値 (B)	100,159	4,168	3,660	2,740	58.22
増減額 (B-A)	59	△331	△739	△2,059	—
増減率 (%)	0.1	△7.4	△16.8	△42.9	—
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	107,718	7,262	6,630	4,135	93.72

(注) 「(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)」は、次の数値を適用しております。

- 2019年9月17日付『(訂正・数値データ訂正)「2019年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について』の開示内容を反映しております。
- 従来、製造の過程で生じる作業くず(金属屑及び廃液)の売却収入を営業外収益のスクラップ売却収入に計上しておりましたが、当連結会計年度より製造費用から控除する方法へと会計方針を変更しております。前期実績については、上記1.が反映された数値に、当該会計方針の変更が遡及適用された後の数値となっております。

2. 差異の理由

当社の連結子会社であるエヌデーシー株式会社は業績改善・向上に努めてまいりましたが、米

中貿易摩擦の影響等により難航し、また、近時の新型コロナウイルス感染症の拡大による影響から今後の同社の業績は厳しいものとなるおそれが高いと考えております。それゆえ、当社は今般、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、将来の回収可能性を見積もりました結果、エヌデーシー株式会社が保有する固定資産の減損損失 2,051 百万円を特別損失として計上することといたしました。

かかる減損損失（特別損失）の計上による親会社株主に帰属する当期純利益への影響額は 976 百万円となり、2020 年 3 月期通期の連結業績が 2019 年 9 月 17 日に公表いたしました予想値を下回る結果となりました。

なお、2020 年 3 月期決算の詳細な内容につきましては、本日(2020 年 5 月 14 日)発表しております「2020 年 3 月期決算短信〔日本基準〕(連結)」をご確認ください。

以 上